



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月10日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西川 憲一 TEL 0774-46-7777
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,723	1.7	360	△14.7	448	△6.6	266	△47.3
26年3月期第2四半期	3,659	2.2	422	11.1	479	16.3	505	57.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 290百万円 (△51.8%) 26年3月期第2四半期 602百万円 (68.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	40.18	—
26年3月期第2四半期	76.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,911	12,716	85.1
26年3月期	14,799	12,624	85.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 12,689百万円 26年3月期 12,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,490	1.7	750	△0.1	870	2.8	555	△31.5	83.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	6,992,000株	26年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	361,515株	26年3月期	361,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	6,630,485株	26年3月期2Q	6,630,485株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、一部に弱い動きが見られるものの、全体としては緩やかに回復しております。また、世界経済については、米国景気は拡大し、欧州も持ち直し傾向にあり、中国も概ね横這いに推移しております。しかしながら、先行きについては、地政学的要因や感染症の拡大等、不安定な状態による経済への影響が懸念されます。

このような状況のもと、当社グループでは、スマートフォン分野やアミューズメント分野は好調に推移しました。また、合繊維物業界は、国内は好調ながら輸出は在庫調整の影響で低調な動きとなりました。その他の分野では、水溶性ポリエステル樹脂関連は既存用途において海外の生産調整等の動きを受け、やや低調となりましたが、さらなる用途拡大を目指して積極的な営業活動を継続して展開しております。化粧品関連はシャンプー・コンディショナー分野は低調な動きとなりましたが、ヘアセット分野は好調に推移いたしました。また、メーキャップ・スキンケア分野にも積極的な開発・営業活動を続けております。その他、市場の低迷が続く分野においても、環境を考慮した製品を投入するなど、今後の市場ニーズを担う展開を図っております。

さらに、人を豊かにする、高機能高付加価値な製品を提供するために、社員一人ひとりが遣り甲斐を持ち、成長し合える組織風土の創生にも努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,723百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は360百万円（同14.7%減）、経常利益は448百万円（同6.6%減）、四半期純利益は266百万円（同47.3%減）の増収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界につきましては、国内市場は引き続き縮小傾向にある中、円高の是正以降、織物生産が海外から国内へ回帰し、細番手織物をはじめ織物全般に亘り好調な状況が続いています。一方、海外市場は中国や韓国で細番手織物が在庫調整局面に入り弱含みの動きへ変わりつつあります。その中で当社グループは、繊維用糊剤の販売に注力し、好調に推移しました。

印刷関連業界につきましては、出版・パッケージ関係が依然として低迷しております。また、ダイレクトメールハガキは広告媒体の多様化に加え、個人情報の管理強化や、消費税増税後の買い控えにより低調な動きとなりました。その中で当社グループは、環境対策関連製品として水性圧着ニスや省エネルギーシステムに対応した高感度UVニスの開発に注力しましたが厳しい結果となりました。

化粧品業界につきましては、シャンプー・コンディショナー分野が依然として競争の激化で低迷しておりますが、ヘアスタイリング剤は国内外ともに好調に推移しております。その中で当社グループは、毛髪化粧品用途で積極的な樹脂開発と新規ユーザーの開拓を進めました。またスキンケアやメーキャップ用途への展開を進め、シャンプー・コンディショナーの低調をカバーしました。

水溶性ポリエステル樹脂につきましては、光学用フィルム用途が安定して推移しました。しかし、包装用フィルム用途が海外で生産調整の動きが見られ不安定な状況となり、全体としてやや低調な推移となりました。

メッキ関連につきましては、新規投入した輸出製品が好調に推移し、転写樹脂関連も輸出が好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は3,027百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益579百万円（同7.9%減）となりました。

(混合系製品)

混合系製品につきましては、スマートフォンの大型化に伴い国内部品市場が好調に推移しております。また、LEDテレビやLED照明関連は輸出が好調に推移しております。自動車関連におきましては国内外ともに好調に推移しております。アミューズメント関連も前期に引き続き好調でありました。一方、タッチパネル用途におきましては、中国市場は好調であります。当社グループ製品の販売先市場は縮小傾向にあり低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は695百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は12百万円（同11.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は14,911百万円と前連結会計年度末に比べ、111百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ115百万円増加し10,404百万円となりました。これは、たな卸資産が65百万円増加したことや、繰延税金資産が40百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ3百万円減少し4,507百万円となりました。これは、投資その他の資産が26百万円増加しましたが、有形固定資産が18百万円減少したことや、無形固定資産が11百万円減少したことによるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ72百万円増加し1,694百万円となりました。これは、未払法人税等が58百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が31百万円増加したことや、賞与引当金が113百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ52百万円減少し500百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が53百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ91百万円増加し12,716百万円となりました。これは、利益剰余金が67百万円増加したことやその他有価証券評価差額金が41百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から39百万円減少し1,965百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は329百万円(前年同期比20.2%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益405百万円(同51.5%減)に対し、たな卸資産の増加額69百万円(同26.5%減)及び役員退職慰労引当金の減少額53百万円(前年同期は増加額7百万円)、並びに法人税等の支払額209百万円(前年同期比39.0%減)があったものの、減価償却費144百万円(同47.0%増)及び賞与引当金の増加額113百万円(同4.8%増)があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は170百万円(同42.1%減)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出166百万円(同22.3%減)等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は198百万円(同26.0%減)となりました。これは、配当金の支払額198百万円(同26.0%減)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、第3四半期以降も積極的な営業活動と徹底した経費の削減を続ける計画ですが、当第2四半期の結果を踏まえ、通期の業績予想を下記のとおり修正しました。

なお、平成26年5月12日の決算短信で公表しました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,650	700	790	480	72.39
今回修正予想(B)	7,490	750	870	555	83.70
増減額(B-A)	△160	50	80	75	—
増減率(%)	△2.1	7.1	10.1	15.6	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	7,362	750	846	809	122.12

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,964,843	6,926,790
受取手形及び売掛金	1,882,847	1,918,683
商品及び製品	566,891	641,095
仕掛品	255,921	298,849
原材料及び貯蔵品	498,682	446,705
繰延税金資産	70,105	110,308
その他	51,129	62,944
貸倒引当金	△1,372	△1,321
流動資産合計	10,289,049	10,404,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,782,968	3,783,226
減価償却累計額	△2,979,288	△3,007,123
建物及び構築物(純額)	803,679	776,103
機械装置及び運搬具	6,212,034	6,407,114
減価償却累計額	△5,609,920	△5,689,912
機械装置及び運搬具(純額)	602,114	717,202
工具、器具及び備品	905,050	918,686
減価償却累計額	△844,991	△852,398
工具、器具及び備品(純額)	60,059	66,288
土地	2,078,398	2,078,398
建設仮勘定	112,665	312
有形固定資産合計	3,656,915	3,638,304
無形固定資産	116,732	105,392
投資その他の資産		
投資有価証券	635,643	703,129
繰延税金資産	85,963	47,486
その他	24,624	22,606
貸倒引当金	△9,689	△9,825
投資その他の資産合計	736,543	763,397
固定資産合計	4,510,191	4,507,094
資産合計	14,799,240	14,911,149

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,012,233	1,044,184
未払金	199,465	179,707
未払費用	12,515	1,976
未払法人税等	210,504	151,539
賞与引当金	113,470	226,886
役員賞与引当金	30,500	15,250
その他	43,275	75,228
流動負債合計	1,621,964	1,694,773
固定負債		
役員退職慰労引当金	163,449	109,913
退職給付に係る負債	389,142	390,435
固定負債合計	552,592	500,348
負債合計	2,174,557	2,195,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	11,087,447	11,154,919
自己株式	△268,988	△268,988
株主資本合計	12,488,449	12,555,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,462	140,551
為替換算調整勘定	10,569	△6,750
その他の包括利益累計額合計	110,031	133,800
少数株主持分	26,203	26,306
純資産合計	12,624,683	12,716,027
負債純資産合計	14,799,240	14,911,149

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,659,986	3,723,229
売上原価	2,313,609	2,413,277
売上総利益	1,346,376	1,309,951
販売費及び一般管理費	924,072	949,808
営業利益	422,304	360,143
営業外収益		
受取利息	4,952	5,226
受取配当金	27,453	45,309
貸倒引当金戻入額	549	—
受取ロイヤリティー	27,088	22,131
その他	26,939	21,969
営業外収益合計	86,982	94,637
営業外費用		
売上割引	3,662	3,982
支払手数料	25,240	—
支払補償費	—	2,345
その他	466	255
営業外費用合計	29,370	6,583
経常利益	479,916	448,197
特別利益		
固定資産売却益	249	792
投資有価証券売却益	362,413	—
特別利益合計	362,662	792
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	100
固定資産除却損	7,370	617
役員退職慰労金	—	43,099
特別損失合計	7,370	43,816
税金等調整前四半期純利益	835,209	405,173
法人税、住民税及び事業税	382,994	162,296
法人税等調整額	△54,010	△24,620
法人税等合計	328,984	137,675
少数株主損益調整前四半期純利益	506,224	267,498
少数株主利益	999	1,111
四半期純利益	505,225	266,386

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主利益	999	1,111
少数株主損益調整前四半期純利益	506,224	267,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,815	41,088
為替換算調整勘定	50,644	△18,328
その他の包括利益合計	96,459	22,760
四半期包括利益	602,684	290,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	598,898	290,155
少数株主に係る四半期包括利益	3,785	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	835,209	405,173
減価償却費	98,497	144,779
のれん償却額	124	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,176	262
賞与引当金の増減額 (△は減少)	108,264	113,415
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,824	△53,536
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,250	△15,250
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,203	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	1,713
受取利息及び受取配当金	△32,405	△50,536
為替差損益 (△は益)	△7,793	△7,588
有形固定資産売却損益 (△は益)	△249	△792
有形固定資産除却損	7,370	617
投資有価証券売却損益 (△は益)	△362,413	—
売上債権の増減額 (△は増加)	120,980	△39,319
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△94,521	△69,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,263	32,157
未払金の増減額 (△は減少)	28,112	15,076
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,747	△10,102
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△36,869	59,938
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△50,602	△32,052
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△11,665	△10,757
その他	△3,025	5,544
小計	592,131	489,295
利息及び配当金の受取額	26,209	50,395
法人税等の支払額	△343,750	△209,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	274,591	329,989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△214,266	△166,522
有形固定資産の売却による収入	249	792
無形固定資産の取得による支出	△12,850	—
投資有価証券の取得による支出	△3,461	△3,669
投資有価証券の売却による収入	636,631	—
定期預金の預入による支出	△3,549,431	△2,850,409
定期預金の払戻による収入	2,848,686	2,850,469
貸付けによる支出	—	△1,284
貸付金の回収による収入	84	84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294,357	△170,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△268,422	△198,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,422	△198,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,133	△209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△263,054	△39,365
現金及び現金同等物の期首残高	2,331,488	2,004,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,068,433	1,965,007

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,948,488	711,498	3,659,986	—	3,659,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	133,448	—	133,448	△133,448	—
計	3,081,936	711,498	3,793,435	△133,448	3,659,986
セグメント利益	629,148	11,433	640,581	△218,277	422,304

(注) 1. セグメント利益の調整額△218,277千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,027,475	695,754	3,723,229	—	3,723,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	124,965	—	124,965	△124,965	—
計	3,152,441	695,754	3,848,195	△124,965	3,723,229
セグメント利益	579,178	12,743	591,921	△231,778	360,143

(注) 1. セグメント利益の調整額△231,778千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。